

## R-2 韓国における山地土砂災害とハザードマップ

韓国林業研究院林地保全科 李 宗学

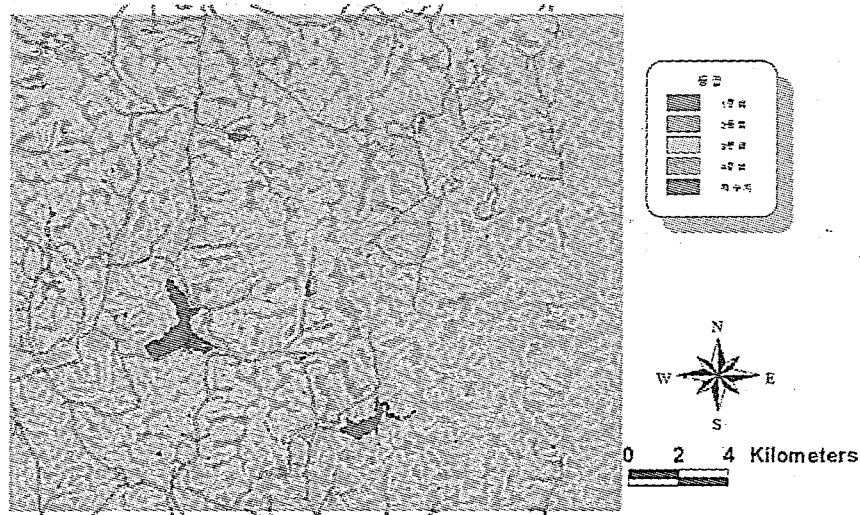
### はじめに

韓国の土砂災害は夏季の集中豪雨による山崩れが主な原因となっており、さらに集中豪雨時に突発的に発生するため、発生場所の予測は非常に難しい。自然災害による韓国国内の年間被害額は平均約 6,000 億ウォンであり、死者行方不明は約 140 人にのぼる。そのうち、土砂災害による被害は 65 億ウォン、死者行方不明 49 人で、山崩れは洪水や山火事に比べて規模は小さいが、人的被害は大きい。

### 山崩れ発生予報制

山崩れはその地域の地質や地形、傾斜、土層深、林相などによって発生規模と頻度は異なるが、連続降雨量 200mm 以上で 1 時間降雨量 30mm 以上の場合に多く発生することが知られていた(催敬, 1986)。この山崩れ発生時の降雨条件を用いて山崩れ発生予報制度を制定して運用しているが、山崩れ発生予報を発令する場合に発令対象地域を具体的に指定できず、予報制度の効果を示すことができなかった。また、山崩れ危険地域を具体的に把握するために従来担当官が現地調査により山崩れ危険地判定表を用いて危険地を判定、指定、および管理を行ってきたが、広範囲な国土全体を対象にした場合、調査員の個人差によっても判定結果が異なるなど問題があった。そこで、韓国林業研究院では GIS を用いて立地環境条件に基づいた山崩れハザードマップを作成し、運用を目指している。

### 용인·안성지역 산사태 위험도 구분도



山地土砂災害ハザードマップ(韓国京畿道龍仁·安城郡)